

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

奈良県

行 事 名 称	天神社消防合同訓練
実施期間・日時	令和7年1月26日（日）10：30～11：00
実 施 場 所	天神社 拝殿ほか（奈良県山辺郡山添村大字北野 1458 番地）
主 催 者	天神社、山添消防署

■実施内容

訓練の想定

枯草を集め燃やしていたが、目を離した時に強風が吹いたため燃やしていた枯草を確認すると飛び火となり社務所へ燃え移っており、更に折からの風に煽られ、社及び隣接する山林に延焼拡大する危険ありとの想定で訓練を実施した。

訓練の内容

- （1） 天神社自衛消防隊の活動
119 番模擬通報・水消火器を使用した初期消火・重要文化財の搬出訓練を実施。
- （2） 消防団、自警団の活動
可搬ポンプを使用し直近自然水利（池）へ水利部署し、合同一斉放水を実施。
- （3） 消防署の活動
ポンプ車は直近し合同一斉放水を実施。タンク車は付近防火水槽へ水利部署し直近ポンプ車への中継送水。

参加者及び役割分担

- （1） 天神社自衛消防隊（区長以下4名）
通報訓練、消火訓練、重要文化財（訓練用物品等）の搬出訓練、講評
- （2） 山添消防団第1分団1班、自警団（7名）積載車1台
一斉放水訓練
- （3） 山添消防署（署長以下20名）タンク車1台、ポンプ車1台、指揮車1台、小型動力ポンプ搬送車1台
一斉放水訓練、講評

特に工夫した点

山添消防署より天神社までは約8分かかる見込み。自衛消防隊による重要文化財の搬出及び初期消火活動が重要となるため、自衛消防隊の活動を重視した。

消防団、自警団、消防署は実際の火災を想定した際、狹隘箇所が多いため火災発生時に実際に水利部署すると思慮する箇所に部署し連携の強化を図る内容で実施した。

問題点・課題

主要道路からの進入路が一経路しかなく狹隘箇所が多いため参道に障害物（駐車車両等）があれば進入が限られるため、各消防組織の連携が重要となる。

その他

天神社では文化財防火週間に合わせて定期的に消防合同訓練を実施することで防火防災意識の啓発と文化財防火愛護意識の高揚を図る機会とされている。

訓練風景

別紙

水消火器による初期消火訓練及び重要文化財（訓練用物品等）の搬送訓練



ホース延長



放水訓練

